

授業科目(ナンバリング)	観光事業論 (CA201)			担当教員	早坂 昌彦		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の 類 型
はじめに、観光事業の全体像と、観光事業が魅力あふれる成長産業であることを紹介する。その際、事業とは個々の企業が行うものであることから、企業に関する情報収集の方法と、分析手法の基礎を紹介する。その上で、観光産業を構成する個々の事業分野を紹介していく。その際、ケーススタディとして、各分野で著名な企業の取組みについて深掘りして紹介する。最後に、履修者自身で観光事業に関する事業計画の作成を試みる。このような進め方により、履修者が観光事業を具体的に理解し、興味関心を持って、個々の企業の活動を自分なりに分析・評価・説明できるようになることが本講義の狙いである。							②③④⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	観光事業に関する知識と、個々の企業に関する情報収集の方法と、分析手法の基礎知識を修得することができる。				・小テスト	30%	
情報収集、分析力	講義で得られた基礎知識を活用し、観光事業および個々の企業の分析を行い、自分事としてその事業・企業を評価することができる。				・課題レポート(2回)	70%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
毎回の講義において、内容の理解の確認・定着のため、ポートフォリオを活用して小テストを行い、その結果に基づき 30% の評価を行う。また、講義で学んだ知識を踏まえ自分事として考えをまとめ、その考えを他者に説明できるようにするために、8 回目(予定)の講義および 14 回目(予定)の講義において、計 2 回の課題レポートを課し、その内容に基づき 70% (30%+40%) の評価を行う。なお、課題のフィードバックは授業中に適宜行う。							
授業の概要							
この講義では、観光事業の魅力と、個々の企業の活動事例を紹介したうえで、皆さんにその事業・企業に関する情報収集・分析手法の基礎を身に付けてもらいたいと考えている。よって、この講義を受講した皆さんが、自分で興味のある観光事業・企業に関する情報を収集、分析し考えをまとめ、他者に説明できるようになり、その結果、自分の地元などでの観光事業により興味を持ってもらえれば、この講義の目的が達せられたことになる。 定期試験は行わないが、毎回行う小テストと、2 回課すレポートで全ての評価を行うので、講義期間を通じて積極的・主体的な参加が求められる厳しい講義となる。 なお、この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に定めない。毎回の講義時にプリントを配布する。 参考書：高橋一夫 他「1 からの観光事業論」碩学舎、加藤弘治「観光ビジネス未来白書」同友館 指定図書：参考書と同じ。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
毎回の講義で学んだことを踏まえ、小テストおよび課題レポートを課すので、講義の復習は必ず行うこと。また、私語など他の受講者に迷惑をかける講義は厳禁とし、そのような行為が特定された場合、その学生の評価に加味する。特に、外部からゲスト講師が来た場合は、感謝の気持ちをもって、より静粛に、集中して授業を聴いてもらいたい。なお、この講義は後期に開講する「地域振興論」も併せて受講することにより、相乗的な学習効果を見込んでいる(ただし受講は必須ではない)。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	観光事業の全体像と企業の見方 ～観光は成長産業だ！～	観光事業の全体像と、観光が魅力あふれる成長産業であることを学ぶ。	予習:シラバスを読んでくる。
2	「運送事業」の全体像を知る	運送事業（航空・鉄道・バス等）の全体像を理解する。	1 回目の配布資料を再度読んでおく、2 回目の資料の復習
3	「運送事業」ケーススタディ ～JR九州の研究～	運送事業のケーススタディとして、JR九州の取組みを学ぶ。	2 回目の配布資料を再度読んでおく、3 回目の資料の復習
4	「宿泊事業」の全体像を知る	宿泊事業（リゾートホテル、旅館等）の全体像を理解する。	3 回目の配布資料を再度読んでおく、4 回目の資料の復習
5	「宿泊事業」ケーススタディ ～ホテルオークラの研究～	宿泊事業のケーススタディとして、ホテルオークラの取組みを学ぶ。	4 回目の配布資料を再度読んでおく、5 回目の資料の復習
6	「娯楽事業（旅行関連サービスを含む）」の全体像を知る	娯楽事業（テーマパーク、温泉施設ビジネス等）の全体像を理解する。	5 回目の配布資料を再度読んでおく、6 回目の資料の復習
7	「娯楽事業」ケーススタディ ～東京ディズニーランドの研究～	娯楽事業のケーススタディとして、東京ディズニーランドの取組みを学ぶ。	6 回目の配布資料を再度読んでおく、7 回目の資料の復習
8	「飲食事業」の全体像を知る	飲食事業（レストラン、弁当等）の全体像を理解する。	7 回目の配布資料を再度読んでおく、8 回目の資料の復習
9	「飲食事業」ケーススタディ ～魚べいの研究～	飲食事業のケーススタディとして、魚べいの取組みを学ぶ。	8 回目の配布資料を再度読んでおく、9 回目の資料の復習
10	「食料品・小売事業」の全体像を知る	食料品・小売事業（土産物等）の全体像を理解する。	9 回目の配布資料を再度読んでおく、10 回目の資料の復習
11	「食料品・小売事業のケーススタディ」～寿スピリッツの研究～	食料品・小売事業のケーススタディとして、寿スピリッツの取組みを学ぶ。	10 回目の配布資料を再度読んでおく、11 回目の資料の復習
12	「地域密着型観光事業」～音楽イベントビジネスの研究～	地域密着型観光事業のケーススタディとして、音楽イベントビジネスの取組みを学ぶ。	11 回目の配布資料を再度読んでおく、12 回目の資料の復習
13	「新たな観光事業」～アソビューの研究～	新たな観光事業のケーススタディとして、アソビューの取組みを学ぶ。	12 回目の配布資料を再度読んでおく、13 回目の資料の復習
14	観光事業を企画してみよう ～事業計画の作り方～	これまで学んだ観光事業の知識を踏まえ、自分で観光事業を企画する方法を学ぶ。	13 回目の配布資料を再度読んでおく、14 回目の資料の復習
15	まとめ ～今後の学びに関するガイダンス～	全ての講義のおさらいと、興味を持った分野に関し今後より深く学んでいくためのガイダンスを受ける。	14 回目の配布資料を再度読んでおく、15 回目の資料の復習